

議会だより

平成20年12月定例会



～児童館もちつき大会～

主な内容

- | | |
|-----------------|------------------|
| ② ……新春を迎えて | ⑥～⑧ ……常任委員会の審査概要 |
| ②～④ ……12月定例会の概要 | ⑨ ……委員会のうごき |
| ⑤ ……審議結果 | ⑩～⑮ ……市政に対する一般質問 |

新春を迎えて



高崎議長

新年明けましておめでとうございます。皆様には幸多き年でありますようお願い申し上げます。

昨年は皆様にとってどんな年であったでしょうか。

秋葉原通り魔事件などの無差別テロ発生などの暗い事件や原油高によるガソリンの高騰、原材料高など経済が不安定な年であったと思います。またここに来てアメリカサブプライムローンに端を発する金融危機、リーマンブラザーズの破綻、自動車ビッグスリーの経営危機。

そして日本でも自動車メーカーの人員削減、生産の縮小など経営危機がテレビ、新聞報道によって伝えられています。

議会において昨年は定数減となつて初めての議会議員一般選挙が行なわれ、6名減で20名の



野口副議長

新議員が活動しています。

吉川市の新たなまちづくりのため新駅の設置が決まり、JR東日本と詳細設計に入り平成23年の開業を目途に進められています。

また本年4月からは都市計画税の導入により新たな財源として4億6千万円見込まれ、市発展に力を与えて頂けると期待しているところでございます。

百年に一度の経済金融危機と言われていますが政府において経済緊急対策もこれから次々とされると同時にセーフティネットの確立、地方自治体においては的確な自治運営をする中で市民が安心して暮らせるまちづくりが求められています。どうぞ皆様のご協力とご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

12月定例会



議案の上程

12月定例会は、12月2日から12月16日までの会期で開催されました。今定例会では、13件の市長提出議案、6件の請願と5件の議員提出議案、2件の委員会提出議案が上程され、いずれも慎重に審議が行われました。
一般質問は13人の議員が行いました。要約したものを10ページから掲載していますのでご覧ください。

市長提出議案

○すべて可決・承認

条例等

報告第5号 専決処分事項の承認について

厚生労働省の平成20年度児童環境づくり基盤整備事業費

補助金が交付されることを条件に、吉川市児童館ワンダーランド20周年記念特別事業として、平成20年12月6日から平成21年3月31日までの間プ ラネタリウムを無料で利用していたが計画をしていたところですが、平成20年10月1日付けで当該補助金の交付に

ついて内示がなされ、記念事業を周知する必要があったため、緊急に吉川市児童館条例の一部を改正する必要が生じたので、平成20年10月31日に吉川市児童館条例の一部を改正する条例を専決処分したものです。

第69号議案 職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

第70号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

産科医療補償制度の創設に伴い、出産育児一時金の支給額について所要の整備をするものです。

《出産育児一時金》
現行35万円→38万円
《施行期日》
平成21年1月1日

第71号議案 指定管理者の指定について

老人福祉センターの管理に
関し、指定管理者を指定する
ものです。

《施設の名称》
吉川市老人福祉センター

《指定管理者として指定するもの》

吉川市連合長寿会

《指定の期間》

平成21年4月1日から平成24年3月31日まで



老人福祉センター

第72号議案 工事請負契約の変更契約の締結について

調整池施設を早期に完成させるため、平成20年9月18日付けで効力が発生した吉川中央第1調整池排水機械設備工事の請負契約について、除塵機等の機械設備の一部を整備する変更契約を締結したので、吉川市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

第73号議案 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の進通光之助氏が平成20年12月22日をもって任期満了となるため、その後任者として山田陽一氏を任命することに同意を得るものです。

諮問第2号 人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の福山紀子氏が平成21年3月31日をもって任期満了となるため、再度推薦するものです。

補正予算

第74号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第3号)

1億9千4万3千円を追加

《主な内容》

- ・乳幼児医療給付費
- ・市立保育所排水設備工事費
- ・道路補修工事費 等

第75号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

1千646万9千円を追加

《主な内容》

・出産育児一時金 等

第76号議案 平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

2千247万9千円を追加

《主な内容》

- ・排水設備工事費 等

第77号議案 平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

第78号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)

109万7千円を追加

《主な内容》

- ・介護システム改修委託料 等

第79号議案 平成20年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出に270万6千円を追加

《主な内容》

- ・配水管布設工事費 等

議員提出議案

議員提出第21号 「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書 可決

議員提出第22号 安心の介護サービスの確保を求める意見書 可決

議員提出第23号 消費税増税はやめ家計をあたためるための減税の実施を求める意見書 否決

議員提出第24号 「汚染米」不正流通事件の徹底解明と再発防止策及び米政策等に関する意見書 可決

議員提出第25号 雇用の安定と中小零細企業への経済対策を求める意見書 可決

委員第1号 吉川市議会議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例 可決

委員第2号 吉川市議会議政規則の一部を改正する規則 可決

会期日程・経過

▼12月2日「開会」。会期を16日までの15日間と決定。

次いで今議会に提出された議案13件の提案説明がなされた後、受理された請願6件が所管の常任委員会に付託されました。

▼12月4日「本会議」。提出議案に対する質疑が行われた後、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。

▼12月5日「総務水道常任委員会・文教福祉常任委員会」議案審査。「総務水道常任委員会」請願審査。

▼12月8日「建設生活常任委員会」議案審査。

▼12月9日「文教福祉常任委員会・建設生活常任委員会」請願審査。

▼12月11日「本会議」。はじめに各常任委員長から審査報告がなされた後、討論・採決が行われました。

▼12月12日・15日・16日「本会議」。3日間にわたり13名の議員から、市政に対する一般質問が行われました。「閉会」。

請願

請願第3号 建設不況打開と資材高騰への緊急対策を
求める請願

要旨 中小建設業者の不況打開に向けた、地域での仕事おこしを支援する緊急対策をおこなってください。

提出者 埼玉土建一般労働組合吉川松伏支部
岡崎隆生

紹介議員 安田真也・稲垣茂行・遠藤義法

請願第4号 交通過疎地域における移動手段の確保を求める請願

要旨 高齢者が気軽に外出できる条件を整え、社会参加をうながし、健康づくりを促進するために、移動手段の確保は欠かせません。バス路線のない交通過疎地域における移動手段の確保について請願いたします。

提出者 全日本年金者組合
埼玉・吉川支部 支

部長 川島庄二郎
紹介議員 小林昭子・伊藤正勝

請願第5号 市内バス会社共通の敬老バスの導入を求める請願

要旨 高齢者の社会参加をうながし、健康づくりを促進するために、移動手段の確保は欠かせません。高齢者が気軽に外出できる条件を整えるために、市内バス会社共通の敬老バスの導入について請願いたします。

提出者 全日本年金者組合
埼玉・吉川支部 支

部長 川島庄二郎
紹介議員 高野昇・安田真也

請願第6号 学童保育の運営改善を求める請願

要旨 仕事と子育ての両立を支える支援策として

①学童保育室の保育時間を午後7時まで延長してください。



栄学童保育室

請願第7号 子どもの医療費無料年齢の引き上げを求める請願

要旨 安心して子育てできるまちづくりのために

①吉川市の子ども医療費無料化助成の対象年齢を引き上げること。

②県に対し、子ども医療費無料化の充実と助成の拡充を求めること。

③国に対し、子どもの医療費無料化制度の創設を求めるとともに、市独自に設けている子ども医療費の助成制度に対する制裁措置(補助金削減)をおこなわないよう求めること。

提出者 吉川市学童保育連絡協議会
島根祐子

紹介議員 安田真也・佐藤清治・伊藤正勝

請願第8号 住民投票により新駅設置の是非を判断するよう求める請願

要旨 現在、市では新駅設置に向けて事業が進行中ですが、吉川市の顔となる駅を造るのであるならば、住民投票によりその是非を判断していただきます。

提出者 小川初江他74名
紹介議員 小林昭子・高野昇

平成21年第1回(3月)定例会の予定	
○2月26日(木)	開会・施政方針演説
○2月27日(金)	代表質問
○3月 3日(火)	議案審議(条例等)
○3月 4日(水)	議案審議(当初予算)
○3月16日(月)	議案審議(委員長報告)
○3月17日(火)	一般質問
○3月18日(水)	一般質問
○3月19日(木)	一般質問・閉会

12月定例会審議結果

○=賛成・×=反対・△=一部賛成

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果	自民	共産	公明	市改	民主
報告第5号	専決処分事項の承認について	省 略	承 認	○	○	○	○	○
第69号	職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第70号	吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第71号	指定管理者の指定について	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第72号	工事請負契約の変更契約の締結について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第73号	教育委員会委員の任命について	省 略	同 意	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	省 略	同 意	○	○	○	○	○
第74号	平成20年度吉川市一般会計補正予算（第3号）	各委員会	原案可決	○	○	○	○	○
第75号	平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	○
第76号	平成20年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第77号	平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第78号	平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第79号	平成20年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○

請 願

第3号	建設不況打開と資材高騰への緊急対策を求める請願	建設生活	採 択	○	○	○	○	○
第4号	交通過疎地域における移動手段の確保を求める請願	総務水道	採 択	×	○	○	○	○
第5号	市内バス会社共通の敬老パスの導入を求める請願	文教福祉	採 択	△	○	○	○	○
第6号	学童保育の運営改善を求める請願	文教福祉	一部採択	①○ ②×	○	○	○	○
第7号	子どもの医療費無料年齢の引き上げを求める請願	文教福祉	採 択	×	○	○	○	○
第8号	住民投票により新駅設置の是非を判断するよう求める請願	総務水道	不採択	×	○	×	×	○

議員提出議案

◎=提出した会派

第21号	「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第22号	安心の介護サービスの確保を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第23号	消費税増税はやめ家計をあたためるための減税の実施を求める意見書	省 略	否 決	×	○	×	△	×
第24号	「汚染米」不正流通事件の徹底解明と再発防止策及び米政策等に関わる意見書	省 略	原案可決	○	○	×	△	×
第25号	雇用の安定と中小零細企業への経済対策を求める意見書	省 略	原案可決	○	×	○	○	○
委第1号	吉川市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
委第2号	吉川市議会会議規則の一部を改正する規則	省 略	原案可決	○	○	○	○	○

自民=自由民主党吉川市議員団・共産=日本共産党吉川市議員団・公明=公明党吉川市議団・市改=市民改革クラブ・民主=民主党

常任委員会の審査概要

総務水道

総務水道常任委員会には、補正予算の2議案、請願2件が付託され、12月5日、委員全員出席のもと審査いたしました。

第74号議案 平成20年度一般会計補正予算（第3号）担当分では、歳出全般で、金融危機、経済情勢が悪化する中、今回の補正予算編成に対して市長からの指示は、に対し、個別に緊急対策枠として編成するのではなく、来年度予算編成も含め、前倒しできるものは補正予算で対応するようであった、とのことでした。

歳入では、予算編成の考え方が、9月はその他の歳入があったから保留し、12月に補正したのか。例年、税は補正をしないで決算対応となっているので、予算化していただきたい。また、市県民税の課税における所得の状況はどうなっているのか。さらに、普通交付税と特例交付金の増減についてはどうか、に対し、7月1日現在の集計で、1人当たりの平均所得割額は、平成19年度が12万8千452円、平成20年度は12万8千348円となっており、104

円減少した。反面、所得割を納める納税義務者は、平成19年度の2万8千822人に対し、平成20年度は908人増の2万8千990人となった。所得割の調定額は1億1千362万円の増加である。人口の伸びが予想を上回ったため補正した。特例交付金については、暫定税率の失効による減収分の措置として計上しているため、地方譲与税、自動車

取得税交付金は減となっている。地方交付税についても、暫定税率に係る部分についての再計算により543万4千円を計上した。以上の答弁があり、討論なし。採決の結果賛成全員で可決と決定。

第78号議案 平成20年度水道事業会計補正予算（第1号）は、審議を始める前に、概要について説明をお願いし、質疑、討論なし。採決の結果賛成全員で可決と決定。

請願第4号 交通過疎地域における移動手段の確保を求むる請願については、市民バス復活の要望がある。廃止後どれだけの人が通常の路線バスで足を確保できたか、市は調査と対策が必要である。

三輪野江地域にかかわらず、旭地域なども市民バスがなくなつて不便であるとの声を多く聞く。

移動手段の確保は重要であるが、アンケートをとった結果、廃止になった経緯と理解している。請願の趣旨は理解するが、具体的にどういう交通手段がいいのか。財政的なことも考えなければならぬし、民間企業を圧迫してもいけない。

この請願については附帯決議により検討委員会の設置を考えてもいいと感じるほどであるとの意見が出たところで審議終了、討論なし。採決の結果賛成多数で採択と決定。

請願第8号 住民投票により新駅設置の是非を判断するよう求める請願については、新聞記事を見ると「具体的なことは明らかにしていない」とあった。新聞もこの程度の情報しかないということは市民はもつと情報がないということ。積極的な情報公開をした後に住民投票で判断を委ねるものと考ええる。

昭和の頃から市をあげて新駅設置運動をやってきて、議

会も特別委員会も承認してきた。双方がよしとして進めてきたことなので、こういう請願よりむしろ議会の解散か市長のリコールの方が筋は通る気がする。

市民の皆様が信頼して一票を投じた議員が説明責任を果たしていないといわれているものであり、もつと説明責任を果たす必要があると改めて感じる。

この請願は議会不信任や市長不信任のレベルにある。よく考えるべきであるとの意見もあった。反対討論があり、採決の結果可否同数。よつて委員会条例第17条の規定に基づき、委員長裁決で不採択と決定。



常任委員会の審査概要

文教福祉

当常任委員会に付託された案件は議案5件及び請願3件で、2日間において委員全員出席のもと審査いたしました。

第70号議案 国民健康保険条例の一部を改正する条例については、産科医療補償制度の創設に伴い、出産育児一時金の支給額35万円から38万円に引き上げる内容で、討論なし。採決の結果、賛成全員で可決。

第71号議案 指定管理者の指定については、老人福祉センター管理運営にあたり、利用者意見の反映や独自の提案についてどのようにされているのかに対し、苦情処理体制が不十分などがあるもので、月1回の指定管理者会議で苦情や意見について報告し、改善している。独自事業の提案については、施設運営がメインで目新しいものはないと思われるが、どのくらいの人を対象に事業ができるかなどを提案していただくようにしているとのこと。また、第3者評価が必要と思われるがに対し、当施設は、事業展開より、管理運営が中心であるため、第3者の評価は含めないとのこと等の答弁があり、討論なし。採決の結果、賛成全員で可決。

第74号議案 平成20年度一般会計補正予算(第3号)担当分については、乳幼児医療費窓口払い廃止の影響等について、重度心身障害者医療費給付費と特別障害者手当等支給費の内容について、緊急通報装置の設置状況や周知について、小・中学校の光熱水費の算出の根拠について、インフルエンザの状況について、給与費の減額について等の質疑があり、討論なし。採決の結果、賛成全員で可決。

第75号議案 平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)については、コンビニ収納により、収納率はアップしているのかに対して、多少、収納率が上がっていると思うが、全体の中で収納率が上がっているとのこと。また、子どもの資格証の発行に関してどのような方向性なのかの質疑に対し、未就学児には資格証は発行していない。11月の保険証更新時から15歳未満の子どもにも保険証を発行している等の答弁があり、討論なし。採決の結果、賛成多数で可決。

第78号議案 介護保険特別会計補正予算(第2号)については、介護保険システムの改修委託料は具体的に何かに対し、3年に1度の制度改正に伴うものであり、21年度スタートなので、詳細はこれからつめるとのこと等の答弁があり、討論なし。採決の結果、賛成全員で可決。

請願第5号 市内バス会社共通の敬老バスの導入を求める請願については、無料ではなく、有料で補助という形のパスで、応分の負担はしていたかどうかということから、介護の費用がかさんでいく中で、元気でいていただくことが大事である。また、多くの利用者にバスを使っていただくという意味では、運営がスムーズにいくための財源負担ということにもなる。受益者負担という条件であれば活力材にもなる等の意見がありました。討論なし。採決の結果、賛成多数で採択。

請願第6号 学童保育の運営改善を求める請願については、午後7時までの延長は社会のニーズでやむを得ないが料金

は負担していただきたい等の意見があり、また、4年生以上の受け入れについては、放課後子どもプランやファミリーサポート支援事業、NPO法人などと連携するなど、別の受け皿を検討すべきではないか等の意見がありました。討論なし。採決の結果、賛成少数で不採択。

請願第7号 子どもの医療費無料年齢引き上げを求める請願については、年齢を引き上げるのは良いことだと思う。一方、現実問題としてどこから予算の捻出をするのか簡単なことではないと思う。国や県に対してお願いするというのは必要だと思う等の意見がありました。討論なし。採決の結果、賛成多数で採択。



常任委員会の審査概要

建設生活

委員会の審議案件は、市長提出議案4件、請願1件です。はじめに第72号議案「工事請負契約の変更契約の締結についてを審議しました。」

第1調整池の機械器具設置

工事の変更契約で、除塵機・搬出ベルトコンベア・天井クレーンを追加するものです。追加機械器具設置の予定価格変更金額の内容について質疑があり、除塵機は3千万円程度になり、3千万円の請負差額と当初の2億9千万円の要望していた3千万円を加えて設計変更したとの答弁があり、賛成全員でした。

第74号議案 平成20年度一般会計補正予算(第3号)担当

分では、道路維持補修事業の工事請負費の補正内容はこの質疑に対し、5路線の内容について、市道3-484号線は、道路冠水、舗装補修で、また小松川に搬入する大型車の増加の道路補修等で、今年度は残り7路線です、との答弁がありました。さらに、公園のいたずら被害の質疑があり、アクアパークトイレのドア破損、関公園のログハウス火災などで職員が夜間パトロ

ール等実施している。次に中川流域下水道負担金増額について質疑があり、水洗化率の向上や不明水などにより水量が増加したためとの答弁がありました。

また、姉妹都市交流事業について質疑があり、原油高騰による航空運賃などの燃料サーチャージ料が上がったことによるとの答弁がありました。道路照明灯整備事業増額補正について質疑があり、電気料金の上昇、雷被害、市民設置要望補正予算内容との答弁がありました。また、破砕機整備は修繕か交換かの質疑があり修繕ですとの答弁があり、最後に不況対策の検討はこの質疑があり、答弁として現在のセーフティネット保証を利用すれば、市の融資よりも低利で一〇〇%保証で融資を受けられるのでこちらで対応いたしたいとありました。

第76号議案 平成20年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

は賛成全員でした。第77号議案 平成20年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)は賛成全員でした。

た。

最後に、請願第3号「建設不況打開と資材高騰への緊急対策を求める請願について審査しました。意見として、仕事がなくとも従業員に賃金を払わなくてはいけない。市として小規模軽微な工事の追加登録を年度内に行い、融資の利子補給拡大を来年度実施するが今ただちに実施してほしい。地元企業への支援対策を実施すべき。建築確認がおりず、設計会社も廃業している。地方公共団体で仕事を発注する必要がある。市は単品スライド条項を9月1日より適用し、10月から適用範囲を拡大したが、地元における不況対策は必要である。」

採決の結果賛成全員でした。



議事を傍聴しませんか

吉川市議会では、3・6・9・12月の定例会と必要に応じて行われる臨時会を開催しています。

皆様の選んだ議員が、吉川市を明るく住みよいまちにするために活動しております。ぜひ、傍聴にいらしてください。

傍聴の際には、受付にて氏名・住所等を記入してください。なお、「携帯電話の電源を切る」など守っていただく事項があります。

平成21年第1回定例会は、2月26日(木)開会予定です。

《平成20年の傍聴者数》

	本会議	委員会	合計
2月臨時会	4人	—	4人
3月定例会	73人	16人	89人
6月定例会	34人	5人	39人
6月臨時会	0人	—	0人
9月定例会	26人	4人	30人
12月定例会	36人	21人	57人
合計	173人	46人	219人

委員会のうごき

常任委員会視察

建設生活

茨城県笠間市

友部駅駅舎建設について

平成20年10月6日、茨城県笠間市・JR友部駅の現地視察を行いました。委員全員が参加し、担当部局として都市建設部職員4名に同行していただきました。平成23年度中の新駅開設に向けた新駅駅舎建設の調査・研究を目的とした行政視察でした。

笠間市議会土木建設委員長挨拶の後、笠間市都市建設課よりJR友部駅の概要説明をいただきました。

友部駅は平成16年度に新駅駅舎として橋上駅舎を建設し、



駅周辺開発は平成16年度から20年度まで、まちづくり交付金を活用し整備を行いました。駅舎に付随して南北自由通路を単独で整備し、南口広場と北口広場を通行できるようにしました。平成19年3月に橋上駅舎と南北自由通路の供用開始をし、1日当たりの利用人数を7千人と見込んでいますとの説明がありました。

質疑としては、

①橋上駅舎の考えは②積立金は③JRとの協議は④市民の声の反映は⑤今後の整備計画は⑥駅舎の設計は⑦駅等の維持管理は等がありました。

答弁としては

- ①南北の地域差があり、その解消のため橋上駅舎とした。
- ②平成12年度から16年度までに14億円の積立があった。
- ③南北自由通路は市負担の建設で、JRとの協議はしなくてもよいとのことだったが協議はした。
- ④笠間市は陶芸と石の町で、



駅出口に笠間焼の陶芸版を設計した。市民からの意見は聞いていない。

⑤駅北口、南口整備は地区計画を設定し整備している。駅南は都市計画のまちづくりの中で、地域の意見を聞いている。

⑥駅舎はJR東日本が設計し、笠間焼を盛り込んでもらった。

⑦維持管理上の問題点は、エスカレーター緊急停止時の対応。またハトが南北自由通路に来てしまうこと等。

以上で質疑を終え、JR友部駅の現地視察を行いました。

※委員長が報告しました。

文教福祉

市立小・中学校視察

10月27日(月)・28日(火)の2日間にわたり、文教福祉常任委員会では、市立小・中学校を訪問し、現状を確認いたしました。

子どもたちの元気なあいさつに迎えられ、校長先生をはじめ、先生方に校内を案内していただきました。

各学校それぞれに特色があり、その特色を生かした工夫がなされていました。



吉川小学校にて

市政に対する

一般質問

一般質問は12月12日・15日・16日の3日間にわたり、13人の議員が活発な論戦を展開しました。
 ※質問・答弁とも質問者が要約しました。

少子化対策と

子どもの

健康について

中嶋 通治

(問) 水道水フロリドーションの早期実施については様々な事業を展開し、市民の皆様方にPRを行っています。今後の取り組みについては。
 (答)市長 実施にあたっては市民の理解を得ることが重要課題であり、今後は吉川歯科医師会等の支援を受けながら啓発活動を行う他、保健センターにフッ素水を試飲できる装置の設置を検討します。

妊婦検診の14回無料化について

(問) 妊婦検診は妊娠中毒や切迫流産等から母子を守り出産するために欠かせないものである。厚労省では14回まで拡充するため予算化するとあるが、当市の見解は。
 (答)市長 財政の問題等明確になっていない。今後の国の動向を注視し対応したい。

出産育児一時金の増額にCSN

(問) 来年1月から38万円に引き上げられるが、現在出産にかかる費用は近隣分娩機関では40万円を超える額が必要である。現状を改善すべく政府は親が分娩費用を直接支払わ

ず、公費負担で出産できる制度を導入とあるが。
 (答)市長 出産育児一時金の増額や窓口払いの廃止等見直しがされた場合には対応します。

乳幼児医療費助成制度対象児童の拡大について

(問) 子育て中の保護者にとって子どもの成長は最大の願いであり、経済的な安心のもと、医療機関へ受診できることは非常に重要なことであり入院については中学生まで、制度を拡大していただきたい。
 (答)市長 子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができると、子育て支援として入院にかかる医療費助成については中学校卒業まで拡大します。



PCタンク

介護保険事業と

高齢者福祉

について

稲垣 茂行

(問) 現在、第4期の高齢者福祉計画、介護保険事業計画の策定を行っているが、第3期の成果と課題及び第4期計画の考え方、内容を伺う。
 (答)市長 第3期では、できるだけ要支援、要介護にならないよう、「介護予防教室」や「予防給付事業」に力を入れ、一定の成果があったと考える。今後は、地域密着型サービスの整備が課題であり、第4期は、引き続き一人暮らしや認知症対策、介護予防の充実を重点施策としたい。

(問) 市内介護保健施設及び地域包括支援センターの現状と課題は。
 (答)市長 以前に比べ施設の経営は厳しく、慢性的な人員不足が続いており、必要な人員確保が課題。地域包括支援センターでは、高齢者の実態把握、介護相談、ケアプランの

作成等を行っているが、さらに市民に認知されるよう、周知を図っていききたい。
 (問) 介護療養型医療施設廃止に伴う対応は。
 (答)市長 平成23年度末までに介護療養型老人保健施設や特別養護老人ホーム等に転換することになっている。これは病院の判断で行うことだが、ターミナルケアと医療の療養型にする方向と聞いている。
 (問) これからの介護事業と高齢者福祉については、「介護予防」の推進、「地域包括ケア」の充実、「介護サービスの質」向上への取り組みが肝心と考えるが、市の見解は。
 (答)市長 ご指摘の3点は、多様なサービスを必要としている要支援・要介護者にとって非常に重要であり、元気な高齢者に対する予防介護、保健福祉、医療、地域の連携またケアマネージャーへの支援を通じ「質」向上を図ることを第4期計画に位置づけ、推進していきたいと考えている。



関小（ことばの教室）

学習障害等の子どもたちの 通級教室開設に 向けた進捗状況は

互 金次郎

(問) 関小学校に「ことばの教室」が開設され特別支援教育の充実が図られました。昨年、「学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症の子どもたちの通級教室も整備すべき」との一般質問に「今後早ければ平成21年に開設できるよう、さらに詳細に準備を進めます」との答弁でした。通級教室開設に向けた進捗状況は。
(答) 教育長 設置校は大規模改

修の北谷小学校を予定していますが、4月からの開設は国と県の協議を待たなければなりません。今後も早期の開設実現に向けて、さらに働きかけを強めてまいります。

円滑な定額給付金の実施で 生活支援と景気の下支えを

(問) 定額給付金は、物価高と収入の減少で大変な家計への生活支援と個人消費を活性化し景気を下支えるものです。定額給付金に対する市長の見解は。
(答) 市長 市民生活への支援策になり、広く給付することによって、個人消費を上げ、地域経済の活性化など景気回復に寄与するものと考えます。

いじめ対策のさらなる充実を

(問) 文科省2007年度調査では、いじめの状況は依然高水準です。当市の状況は。
(答) 教育長 小学校8件、中学校12件で全体で69・2%の減少です。いじめは絶対に許さないと徹底して指導し未然防止と早期発見・早期対応に努めます。

職員力の向上を目指し、 さらなる人材育成を

(問) 人材育成基本方針の具体的な展開は。
(答) 政策室長 昇任試験制度は慎重に検討し、民間企業への短期派遣及び長期派遣を検討します。メンタルヘルス対策は、医師の面接指導を制度化する予定です。

一層充実 「子育て支援」 経済的負担の軽減を

五十嵐恵千子

(問) 今年3月議会でも小・中学生までの乳幼児医療費無料化拡大を要望しましたが、物価高や世界的な金融危機等を背景に、若いご家庭から、子育てに係る経済的負担の軽減を望む声があります。
①小・中学生までの医療費無料化拡大を。②公明党は実態に見合った出産育児一時金の支給額引き上げを目指しています。また、東京都でおきた

妊婦受け入れ拒否などから産科医不足が深刻さを増し、出産に対する不安が広がっています。近隣市町の周産期医療体制の現状と出産費用は。
③新たな経済対策に14回分の妊婦健診無料化費用が公明党の主張通り盛り込まれました。当市も無料化拡大を。

(答) 市長 ①平成21年度の早い時期に、入院に係る医療費助成を中学卒業まで拡大します。②県では、産科・新生児担当医の不足が深刻化しており、現在、県内6カ所ある周産期母子医療センターを平成23年度末までに8カ所に充実させる方針です。市内の産科医療機関3カ所中、出産可能施設は1カ所であり、近隣市町で出産している状況です。

③14回分無料化は、今後の国の動向を踏まえ対応します。

関川富線(2-2552号線) の交通安全対策を

(問) きよみ野3丁目、4丁目の一部住民から当該道路へ横断歩道の設置や車の減速を促す路面表示など交通安全対策の要望があります。ご見解を。
(答) 市民生活部長 永田公園北

西角の交差点と東武バス車庫折り返し点南西の交差点への横断歩道の設置要望書を吉川警察署へ提出しました。併せて路面表示も考えていきたい。

非常勤・臨時職員など非正規 職員制度の抜本的見直しを

(答) 政策室長 国や他団体の制度を勘案し、処遇改善を図る。

越谷保健所

吉川分室の

有効活用について

小野 潔

(問) 県では保健所の再編を検討し吉川分室の廃止を考えている。新潟県見附市の健康づくり事業を紹介し、保2区南自治会からの請願のあった児童公園を併設した(仮称)健康づくり支援センター設置を提案、見解を聞く。

(答) 政策室長 県から示された場合、政策会議で検討する。

公共施設の駐車場の整備・ 充実について

(問) 公共施設の、おあしす、中央公民館、老人福祉センター、東部地区センター、ワンダーランド、保健センター、本庁舎等の砂利駐車場の整備、タイヤ止めの設置、夜間照明灯の設置を担当課を決めて総点検を実施し、充実を図るべきであると思いますが。

(答)総務部長 利用しやすい駐車場ということでそれぞれの管理担当部署からの要求に必要に応じて対応していく。

(答)教育部長 おあしすの水銀灯12基の左右の駐車スペースにタイヤ止めを設置する。また中央公民館の身体障がい者用駐車スペースにタイヤ止めの設置をする。

自主財源の確保対策について

(問) 自主財源の確保対策として、寄付条例導入の進捗状況、大阪府での自動販売機の業者公募制への切りかえによる3億円増収を紹介、北九州市の事務用封筒への広告掲載事業、福岡県直方市の公用車への広告掲載事業を紹介、当市での導入の有無を聞く。また市税のクレジットカード払いやイ



市民交流センターおあしす障がい者用駐車場

ンターネットバンキング納税の導入を問う。

(答)政策室長 寄付条例は早い段階での制度の確立を目指す。

(答)総務部長 自動販売機の件は今後検討する。広告収入の確保、クレジットカード払い、インターネットバンキング納税は研究する。

バランスある

教育環境

学校づくり

山崎 勝他

(問) 選択制、学力、体力の向上策は。また、食育の推進は。

(答)教育長 「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成、選択制は、自分に合った自分の個性が生かせる中学校を選択できるような体制を実現している。全国学力調査の結果は、「国語」では小学生、中学生とも、全国レベルの学力を身につけており、「算数・数学」では、小学生は全国レベルに達している。中学生では全国平均に比べて、やや低い状況となっている。体力は、小学生は県平均を下回る項目が多く、特に「投力」「跳躍力」の数値が低い。中学生は、ほとんどの項目で県平均を上回っている。食育の推進は、栄養職員による「なんでも食べよう」「食の大切さ」など食育指導を行い、望ましい食習慣の形成と栄養指導の充実に努めている。

よこまちの杜の環境整備

(問) 供用開始の時期と今後の施設整備について。

(答)都市建設部長 平成21年度の開設に向けて「よこまちの杜の会」と協議している。今後の施設整備については、制札板、ベンチ、水飲み場、ト



よこまちの杜

イレなど設置要望が出されたところであり、利用状況などを踏まえた中で必要に応じて、順次整備をしてまいりたい。

農業問題

(問) 肥料価格や農業資材料の高騰などで厳しい状況である。持続的な振興策について。

(答)市民生活部長 国では、燃油・肥料高騰緊急対策事業において、肥料使用量を2割削減する技術を導入する。3戸以上のグループに対して、肥料費の対前年上昇分の7割を補てんすることとしているが、平成20年生産調整達成者が採択要件となっている。今後、農事組合長会議などにおいて、事業の周知を図る。

家庭ゴミ

「有料化」の

答申について

伊藤 正勝

(問) 家庭ゴミ収集の有料化について、22年度からの実施が望ましいとの答申が出された。どう受け止め、対処するのか伺いたい。

(答)市長 現在ごみは市の財政で処理している。有料化になれば、ごみの搬出量に応じた負担の公平性がはかられることや市民の意識改革によってごみの発生と排出の抑制、分別の徹底、再生利用の促進などの効果が期待される。引き続き減量に努めた上その結果をみて有料化の可否、時期については検討したい。22年度実施にはこだわらない。

(問) 5市1町のゴミ搬入量はこの4年間で10%も減り、第2焼却場建設は当初1日400トの処理能力が先頃1日297トの計画に変更されたと聞いた。進捗状況を説明してほしい。

(答)市長 東埼玉資源環境組合では草加市の地元との建設同意を20年度中に得たいとしている。制限つき一般競争入札で、緑化、雨水の再利用、排出ガス等の厳しい基準値、環境に配慮した設計になる。負担金は現在平等割15%、搬入割85%で構成市、町が負担している。吉川市としては公平負担、行革推進について提起し検討を求めている。

「駅南」地区に野球場なの？

(問) 吉川新駅予定地前のJRグラウンドの購入に関連して「駅南」に野球場建設が浮上していると聞かされた。

(答)都市建設部長 JRグラウンドの代替地として、一つの案として最終処分場跡地を含め検討している。

(問) 将来の人口は、駅南9千200人、跡地3千人。公園と隣接した多目的運動公園の構想・計画が野球場に変わる。吉川の誇るNo.1の公園にこの期待も多い。野球関係者だけでなく市民の声を吸収して対応するよう強く求めておきたい。

国保税の引き下げ、資格証明書の発行中止と減免制度充実を

佐藤 清治

(問) 加入者から国保税が高くて支払いが困難という声が寄せられる理由は低所得者の比率が高くなってきたこと、国が国庫負担を削ってきたことにあります。

(問) 国に対し国庫負担を元に戻すことを強く求めると同時に支払える国保税に引き下げをすべきと思うが。

(答)市長 今後とも適正な課税に努めてまいりたいと考えております。

(問) 資格証明書の発行は中止すべきではないか。

(答)市長 中止する考えはございませんが15才以下の義務教育を受けている児童・生徒の属する世帯は11月から資格証明書の交付を廃止したところでございます。

(問) 今の厳しい状況を踏まえ減免制度をさらに充実させるべきではないか。

(答)市長 平成20年度におきまして預貯金の要件を最低生活費のおおむね3倍から5倍に引き上げたところであり、さらなる拡充は現在のところ考えておりません。

障害者控除・特別障害者控除の認定証の交付は

(問) 昨年12月議会でも取り上げ、市は672名の方々に申請書を送りました。

(問) 交付の現状と新たに介護認定を受けられる方々への対応について伺います。

(答)市長 交付件数は平成18年度11件、平成19年度306件、平成20年度は11月末現在16件を交付しております。

新たに介護認定を受けられる方々に対しましては介護認定申請の際の窓口で制度の説明をさせていただくとともに認定証を交付する際に障害者認定の案内を同封しております。

(問) 申請書も同封すべきではないか。

(答)健康福祉部長 今後、対象者の推移、また声を聞きながら送付も検討してまいります。

新駅問題を

問う

安田 真也

(問) 新駅・武操跡地・周辺の開発に関して、私のもとには総合病院、大学病院の誘致やグラウンドゴルフ場、サッカー場を造って欲しい。プロサッカーチームを誘致して欲しいとの意見が来ているが、市民の方から何か意見等が来ているのでしょうか。

(答)市長 新駅設置の資金計画に関して疑問を呈する声や、開設時期の問い合わせはあるが、ほとんど反対意見はないことから計画的に事業を今後進めていく。

(問) 企業誘致はどのように進めていくのか。

(答)市民生活部長 県内の工業用地需要状況は以前に比べ減ってきているが、東部地区に關しては都心に近いことや、雇用の確保が図りやすいことから流通関係を中心に需要があると県から聞いている。今

後企業の需要や景気の動向を見ながら研究していく。

総合病院の誘致について

(問) 病院の誘致や学術機関等の誘致に関しては情報収集を行っているか。

(答)都市建設部長 武操跡地に産業系の用地を確保してありますので、機軸側に「大学・医療機関・優良企業に入りたいだけの方策をとっていただきたい」と要請しております。

今後の流れと情報開示

(問) 今後の手順は。

(答)市長 駅舎に関しては、平成21年3月工事施行協定締結。8月から工事。跡地は、平成



国旗・市章・市シンボルマーク (市役所)

23年度末の街開きに向けて順次整備を進めていく。周辺は、平成22年度の都市計画決定に向けて県と都市計画手続きを協議中。

(問) これまでの経緯や概要に関して説明が不十分では。

(答)市長 説明会や公聴会、広報等で出来る限りの提供を行ってきた。今後も努力する。

市立図書館の 指定管理者制度 導入は見直しを

遠藤 義法

(問) 図書館含め社会教育施設の民間委託、指定管理者制度は「民間の能力の活用と経費の削減を目的」に導入された。

しかし、社会教育施設は利益を追求する企業への委託は「なじまない」と全国でわずか1.8%

しか導入されていない。しかも導入した図書館では「弊害」もおきていると国会の文部科学委員会でも議論があり、附帯決議も採択されています。平成22年度からの指定管理者



会野谷浄水場

制度導入は見直すべきであると考えが見解を伺います。

(答)教育長 行革プランで導入を決定し、現在条例改正や募集要項の素案作成など準備を進めている。事業者の破綻やサービスの低下などについては十分配慮して進める。

(問) 教育は継続性が大事で、市民参画審議会でも「おあしす」の指定管理者制度導入について市民の声を聞くべきなどの意見が出されている。もう一度見直すべきである。

(答)政策室長 導入の目的は第一にコストの削減、第二に市民サービスの向上であると認識している。国から示されている留意事項を尊重しながら今後進めていく。

浄水場施設改修と財源 見直しは

(問) 会野谷浄水場は昭和43年から事業がはじまり、施設は大変老朽化している。改修計画を伺います。また事業費増による水道料金の引き上げが懸念されるが、値上げはすべきではないと考えるが見直しは。

(答)市長 適正な規模の浄水場施設として平成22年度から28年度までで整備する。石綿管敷設については、平成35年度までに終了する計画である。財源見直しは、総額96億円、企業債が21億円、自己財源が65億円などである。水道料金は、現行料金の維持に努めていきたいが、県水の料金の動向によつては見直しが必要になる。



県道加藤平沼線

「直接契約」方式 導入とは？

公的保育制度 堅持を

高野 昇

(問) 厚生労働省の部会で、保育制度を大きく変える保育園と保護者の「直接契約」方式の導入等が議論されている。保育を福祉の制度から、介護保険のようなサービス提供の制度に変えるものである。公的保育制度の堅持が求められており、市としてこの議論をどう捉えているのか。

(答)市長 市場原理に基づく保育改革議論が進められているが、保育者の所得による保育の格差や過度の競争を強め保育水準や地域の保育機能の低下に結びつく恐れがある。他方で、高まる保育ニーズに対応するため量的拡大なども求められている。保育所保育指針に基づき安定した保育所運営を行う事が重要。国の動向を注視してゆきます。

農業者の税金申告援助は

(問) ほとんどの農家が赤字で給与や年金などの農外収入で生計をたてている。農業所得をマイナスで申告すれば、源泉税の還付も受けられ、市税と国保税も下がることになる。農家への申告援助はどのような行われているのか。

県道加藤平沼線歩道整備を

(問) この県道は通行量が多く住民の方から歩道の段差と凹凸の解消、歩行者と自転車の走行帯を分けてほしいとの要望が出されている。

(答)都市建設部長 現場を調査し、県に段差20カ所、凹凸4カ所の補修のお願いをした。凹凸は早急に補修し、段差については計画的に補修する。自転車と歩行者の走行帯の設置は通行量を勘案し検討していくとのこと。

三輪野江バイパス 開通見通しと 周辺の 交通安全対策

小林 昭子

(問) 三輪野江バイパスの工事が完了予定は。
 (答) 都市建設部長 用地買収も終わり、平成21年度に完了と県から聞いている。
 (問) バイパス出入口、川端地内交差点、現県道の大型徐行の対策は。
 (答) 都市建設部長 出入口、交差点部分は県・吉川警察と協議を行っているところです。現県道大型車徐行は今後交通量をみて協議します。
 (問) スマートIC開通の影響は。
 (答) 都市建設部長 三郷市内の県道「越谷・流山線」と常磐道側道の交差点に負荷が考えられる。今回の社会実験は周辺の影響を把握する意味もあり、今後影響がある場合は対応を考えてゆく。
 (問) バイパスへのアクセス道路として周辺生活道路の車量が増え、道の傷みも激しい。道路整備等行い安全対策を。
 (答) 都市建設部長 三輪神社より東への市道3-480号線は今年度舗装します。現地の状況を踏まえ補修工事等行い安全対策を計ってゆきます。

08年度市健康診査への声

(問) 保険料が上がって健診項目は減っていると驚きの声が上がっている。健診の充実を。
 (答) 市長 今年からの特定健診は生活習慣病を予防する事を目的として国基準が定められている。市は腎臓病・糖尿病予防を計るため国の基準を上回って実施している。

第2さつき園開設事業

(問) 開設に向け当事者参加は。
 (答) 健康福祉部長 養護学校PTA、手をつなぐ親の会、葎の里、フレンドパーク、さつき園の保護者、指導員と懇談等行ってきた。早期開設、送迎対応、一時預り要望が出されている。
 (答) 市長 現さつき園の事業に加え就労移行支援事業、余暇活動、社会参加を促進する地域活動支援センターとする。

市民の豊かさは 豊かなまちづくり 施策の推進により 得られます

齋藤 詔治

(問) 調整区域の開発を進めるため、都市計画法による区域指定、並びに既存集落地域内農用地の白地への見直し、長期的視野に立った農業振興策に農業振興地域内、集団農地の再整備場整備の実施へ。
 (答) 市長 区域指定の運用基準が厳しくなり、指定は白地内の限られた地域になります。
 (答) 市民生活部長 土地の特性または需要に応じて開発等も検討していかねばと考えています。
 (問) 第四次吉川市総合振興計画基本構想の県や国に対する位置づけの有無は。
 (答) 都市建設部長 国や県に対して無く、市の考えです。
 (問) 操車場跡地の造成工事は、相当の余剰土を周辺開発の盛土に利用を。経済的・環境面・交通渋滞の緩和等、大きなメリットが得られるか。



吉川ネギ

(答) 市長 鉄道運輸機構は原則地内で土砂を流用すると聞いており現段階ではいかがか。
 (問) 新駅の高架化を願っているが、難しいならば予定駅の二面三線を二面四線に変更は。
 (答) 市長 当市が駅用地を確保することやJR東日本と協議が整っていることから無理。
 (問) 新駅周辺開発は組合施工による区画整理事業との説明だが、民間の技術的能力や資金等の有効活用による「区画整理会社方式」により市の財政負担が伴わない方式での実施の検討を。
 (答) 市長 地権者の合意形成を図る中で研究していきます。
 (問) 本年9月に吉川市開発公社が取得した吉川新駅前(野

球場) 2万8千249㎡(8千545坪)敷地の一部に暫定駅前交通広場3千㎡(900坪)の計画は、将来を展望し1万㎡(3千坪)程確保し、新駅開業に合わせた駅前整備が財政的に無駄がなく今後のメリットが大きいが。
 (答) 市長 周辺開発の区画整理事業の中で実施していく。

南部正副議長会 議員研修会

10月30日、三郷市・八潮市・松伏町と吉川市の議員合同の南部正副議長会議員研修会が会長市である吉川市の中央公民館で開催され、吉川市議会からは16人の議員が出席しました。市議会議員共済会の職員を講師に、議員年金制度についての講演が行われました。





吉川市消防出初式

議 会 日 誌

【10月】

- 1日 春日部市民の日制定記念式典（春日部市）
- 6日 建設生活常任委員会行政視察（茨城県笠間市）
- 26日 東埼玉資源環境組合議会
- 27日 文教福祉常任委員会行政視察（市立小・中学校）
- 28日 文教福祉常任委員会行政視察（市立小・中学校）
- 30日 南部正副議長会議員研修会（吉川市中央公民館）

【11月】

- 3日 越谷市制施行50周年記念式典（越谷市）
- 12日 大分県日田市議会総務委員会行政視察来庁
- 13日 自由民主党吉川市議員団会派行政視察
（保第二公園防災ステーション）
- 13日 民主党会派行政視察（羽生市）
- 13日 南部正副議長会視察研修会（長野県小諸市・千曲市）
- ～14日
- 16日 市民まつり
- 19日 地下鉄8号線早期建設及び誘致に関する要望
- 20日 公明党吉川市議員団会派行政視察
（少年センター・適応指導教室）
- 24日 東京筑波直結鉄道建設・誘致促進大会
- 27日 議会運営委員会

【12月】

- 2日 第6回定例会本会議（開会・議案上程）
- 4日 本会議（議案審議）
- 5日 委員会（総務水道・文教福祉常任委員会）
- 8日 委員会（建設生活常任委員会）
- 9日 委員会（文教福祉・建設生活常任委員会）
- 11日 本会議（委員長報告）
- 12日 本会議（一般質問）
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問・閉会）
- 19日 議会広報委員会
三郷料金所スマートインターチェンジ社会実験開始式
- 24日 東埼玉資源環境組合議会
- 25日 流山市議会行政視察来庁
吉川松伏消防組合議会

編 集 後 記

景気悪化は働く人々へ大きな犠牲をもたらし、解雇や雇い止め、住まいなど社会問題化し、国民生活はきびしさを増し、不安が募るばかりです。国民へのセーフティネットをどのようにつくり実施していくかがいま政治に問われているのではないだろうか。テレビ放映されたオランダでの労働者の状況も吉川市議会で紹介されました。正規労働者も非正規労働者も賃金に差はなく、社会保障も確立されている。しかし一方消費税が19%、所得税などの負担も多い。財源をどこから確保し、税金を何に使うかは国によって異なるが、庶民生活が安心できる国づくりこそが政府や地方自治体に求められているのは間違いありません。

12月市議会には急激な不況進行のなかで打開策を求める請願も提出されました。補正予算では、道路補修工事や学校の補修など前倒しでの実施や融資の利子補給の利率引き上げなどを市長は明らかにしました。さらに平成21年度の早い時期に入院の医療費無料化年齢を中学卒業まで引き上げることも明らかにされました。市民要望の一つひとつ応えながら安心、安全な街づくりを進めていくことが地方自治体の仕事であり、議員も市民のみなさんの声を議会に反映させながらよりよい街づくりへと活動しております。

(Y.E)

お 知 ら せ

目の不自由な方のために、『よしかわ議会だより』のテープ版を朗読サークル「きんもくせい」で作成しています。ご家族やお知り合いの方で、ご希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

連絡先 吉川市吉川二丁目1番地1
吉川市議会事務局 ☎048-982-9421（直通）